

# 新潟県①

## 平成28年度教職経験者研修を含む教職員研修全体の体系図・取組等の概要

### 新潟県立教育センター 教職員研修体系

年目	幼稚園等	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	養護教諭	栄養教諭	形態
基礎形成期	1 新採用研修 園外研修 10日 園内研修 10日	初任者研修 校外研修 22日 校内研修 180時間	初任者研修 校外研修 22日 校内研修 180時間	初任者研修 校外研修 22日 校内研修 180時間	初任者研修 校外研修 22日 校内研修 180時間	新採用研修 校外研修 12日 校内研修 17日	新採用研修 校外研修 14日 校内研修 15日	悉皆
	2	学級経営講座 校外研修 2日	学級経営講座 校外研修 2日	学級経営講座 校外研修 2日	学級経営講座 校外研修 2日	養護実務研修 指導員実務研修 2日		指名
	3							
	4 保育 ステップアップ 研修 園外研修 1日	教科指導 ステップアップ 研修 校外研修 2日	教科指導 ステップアップ 研修 校外研修 2日	教科指導 ステップアップ 研修 校外研修 2日	教科指導 ステップアップ 研修 校外研修 2日	保健教育 ステップアップ 研修 校外研修 1日	食育指導 ステップアップ 研修 校外研修 1日	指名
	5							
能力伸長期	6 教職5年 経験者研修 園外研修 2日	教職5年 経験者研修 校外研修 2日	教職5年 経験者研修 校外研修 2日	教職5年 経験者研修 校外研修 2日	教職5年 経験者研修 校外研修 2日	教職5年 経験者研修 校外研修 2日	教職5年 経験者研修 校外研修 6日	悉皆 幼稚園等 は指名
	7							
	8							
	9 保育 ジャンプアップ 研修 園外研修 1日	教科指導 ジャンプアップ 研修 校外研修 1日	教科指導 ジャンプアップ 研修 校外研修 1日	教科指導 ジャンプアップ 研修 校外研修 1日	教科指導 ジャンプアップ 研修 校外研修 1日	保健教育 ジャンプアップ 研修 校外研修 1日	食育指導 ジャンプアップ 研修 校外研修 1日	指名
	10							
能力充実期	11							
	12							
	13 教職12年 経験者研修 園外研修 7日 園内研修 7日	教職12年 経験者研修 校外研修 12日 校内研修 15日	教職12年 経験者研修 校外研修 12日 校内研修 15日	教職12年 経験者研修 校外研修 12日 校内研修 15日	教職12年 経験者研修 校外研修 12日 校内研修 15日	教職12年 経験者研修 校外研修 12日 校内研修 15日	教職12年 経験者研修 校外研修 10日 校内研修 5日	悉皆
	14	<b>&lt;研修テーマ&gt;</b>						
	15	<b>基礎形成期</b> 職務の遂行に必要な実践的指導力の基礎の確立 【初任者研修】 基礎1 基礎的授業力、実践力 【学級経営講座】 基礎2 学習規律の定着と社会性育成に係る指導力 【養護教諭実務研修】 基礎2 実務作業能力 【ステップアップ研修】 基礎の確立						
16	<b>能力伸長期</b> 専門的知識・技能に基づく実践的指導力の向上 【教職5年経験者研修】 基礎+個に応じた指導 【ジャンプアップ研修】 教科等の専門性と指導力の向上							
17	<b>能力充実期</b> 学園（園）運営の参画に向けた実践的指導力の充実 【教職12年経験者研修】 教科等の専門性と指導力の充実							

#### 2 研修形態について

- (1) 悉皆研修とは、対象となる全員が受講し、必ず修了しなければならない研修です。
- (2) 指名研修とは、その年度に指名された教諭が年度内に受講・修了しなければならない研修です。教諭である限り必ず修了しなければならない悉皆研修と区別しています。

## 新潟県②

### 成果と課題・平成29年度計画における改善策等

#### 【成果】

○初任者研修は、受講者が自身の成長を自覚でき、研修への満足度も高く、教員としての資質向上に有効な研修の場となっている。また、同年度採用者同士の交流が図られ、貴重な情報交換の場にもなっている。

○中堅教諭等資質向上研修は、各学校の中核となる中堅の教員にとって、校内における自分の校務文書を進める推進力となる実務的な研修のため受講者からの評価が高かった。

#### 【課題】

◆初任者研修は、近年、受講者が増加傾向にあるため、施設設備や運営面において、従来の会場や運営方法では、円滑に進められない状況が発生している。例えば、宿泊研修の会場、スタンプや体験研修の進め方等が、従来の方法で行うには困難になっている。

◆中堅教諭等資質向上研修は、校外に出る研修が、年間で12日間あり、時には受講者が校内に複数いることもあり、受講で学校を空けることが多くなるため学校事情によってはかなりの負担になっている。

#### 【改善策】

◎初任者研修の宿泊研修では、受講者の人数を勘案しながら、柔軟な研修内容が実施できるように、会場や内容を変更。

◎中堅教諭等資質向上研修は、教員指標に伴う今後の基本研修の改変に向けて、校外研修の内容と効果を基に日数について精査中。

# 富山県①

## 平成28年度教職経験者研修を含む教職員研修全体の体系図・取組等の概要

### 富山県教育委員会が実施する教職員研修の体系

#### 教職歴と研修内容

経 験 年 数		教職員のキャリアステージに対応した主な研修内容							
		0	5	10	15	20	25	30	35
研 修 内 容	教育活動に関するもの	教材研究 授業研究 特別支援教育	教材研究 授業研究 生徒指導 特別支援教育	生徒指導 特別支援教育	教育評価 教育課程	教育評価 教育課程	教育課程		
	教師の姿勢に関するもの	教師の使命		教育観の確立 研究研修方法	研究研修方法	人間観の確立 研究研修方法			
	組織・運営に関するもの	学級運営	学級運営	学年運営 校内研修	学年運営 校内研修 校務分掌企画 教育法規	校内研修 校務分掌企画 教育法規	校務分掌企画 教育法規	教育法規 学校運営理論	教育法規 学校運営理論
	教育問題に関するもの					学校運営理論	学校運営理論	現代教育問題	現代教育問題

#### 研修の分類

基 本 研 修	
県 教 委 ・ 地 教 委 が 実 施 す る 研 修	年次・指定研修
	各主任研修
	管理職研修
	各職務研修
専 門 研 修	
特 別 研 修	教科指導
	道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動、生徒指導、進路指導、教育相談、幼児教育、特別支援教育、福祉教育、情報教育、国際理解教育、健康・安全教育、学校図書館教育、視覚教育、学校管理・運営等の研修
文部科学省・独立行政法人教員研修センター主催各種研修講座、大学院・大学派遣研修、教育研究のための派遣研修等	

# 富山県②

## 平成28年度教職経験者研修を含む教職員研修全体の体系図・取組等の概要

### <工夫1>

・キャリアステージを4段階に分け、それぞれのステージに応じて、重点的に研修する内容を設けるなど、段階的、計画的に資質・能力の育成が図られるよう工夫している。

### <工夫2>

・初任者、2、3年次教員を対象とした若手研修を実施し、研修内容の一層の充実や初任者の多忙感の軽減に努めている。(平成26年度より実施)

## 成果と課題・平成29年度計画における改善策等

### 教育研修部

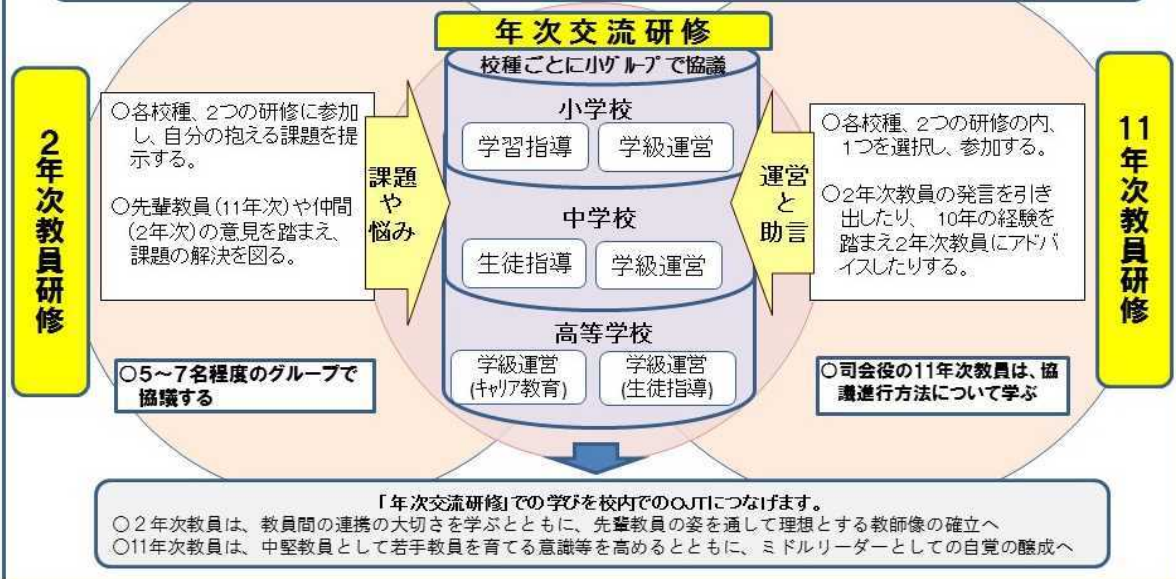
2年次教員と11年次教員との年次交流研修を実施します。

#### 【時代の背景】

- ベテラン教員の大量退職、若手教員の大量採用による教員の若年化が進んでいます。
- 校内において若手教員を指導し、育てる中堅教員層（ミドルリーダー）の育成が求められています。

若手教員と中堅教員が互いに高め合う「年次交流研修」を導入し、双方の研修内容の充実を図ります。

- 2年次教員研修と11年次教員研修の一部に「年次交流研修」を導入し、夏季休業中に2年次教員と11年次教員が共に研修
- 従来の研修体系を生かして実施



### <成果>

・初任者に時間的なゆとりが生まれ、教材研究や子供と向き合う時間の確保につながった。2、3年次教員としては、3年間継続した研修となり、自身の経験を踏まえた一層充実した内容の研修となった。

### <課題>

・校内において、若手教員を指導し育成する中堅教員の育成が課題となっている。

### <改善策>

・今年度より、11年次交流研修の一部に「年次交流研修」を導入し、2年次教員と共に研修することで、若手教員と中堅教員が互いに高め合うなど、双方の研修内容の充実を図っている。

# 石川県①

## 平成28年度教職経験者研修を含む教職員研修全体の体系図・取組等の概要

### 基本研修の主なテーマ及び内容

研修名		初任者研修	初任者 フォローアップ研修	5年経験者研修	中堅教諭等 資質向上研修	20年経験者研修
資質能力		◆初任者育成1000日構想に則り、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見の獲得を目指す。		◆初任者のメンターとしての役割を付加し、専門的知識や技能の充実に図る。	◆得意分野を伸長するとともに、学校運営の企画力の向上を図る。	◆それぞれの得意分野を生かした組織的な対応力の向上を図る。
授業実践力の向上	テーマ	◆学習指導における基礎の確立 ・教科等に関する専門的な知識 ・教材を作成する力 ・学習評価の知識		◆学習指導における実践的な指導力の向上	◆学習指導における実践的な指導力の充実	◆学習指導における指導的な役割を担う力の育成
	主な内容	○学習指導案作成 ○模擬授業 ○研究授業 ○授業におけるICT活用 ○総合的な学習の時間 ○道徳・特別活動 ○特別支援教育	○理科・実験観察(2年目 小・特(小)) ○外国語活動(2年目 小・特(小)) ○模擬授業(2年目中・高・特(中・高)) ○教科別学習指導(3年目) ○授業研究(3年目)	○公開授業(グループ代表者) ※初任研と合同	○学習指導案の作成 ○模擬授業 ○研究授業 ○教科指導におけるICT活用 ○道徳(小・中) ○アクティブ・ラーニング(高)	○授業研究
生徒指導力の向上	テーマ	◆生徒指導、学級経営における基礎の確立 ・発達障害、不登校問題の理解 ・いじめ等への対応		◆生徒指導、学級経営における実践力の向上	◆生徒指導の実践的指導力と組織対応への意識の向上	◆生徒指導の諸問題への組織的対応力の向上
	主な内容	○生徒指導の基本 ○発達障害の理解 ○学級経営の基本 ○いじめを防ぐ学級経営 ○ストレスマネジメント	○学級経営(子どもをとる力の向上と充実) ○保護者との信頼関係づくり ○ストレスマネジメント	○いじめ・不登校問題の理解と対応 ○生徒指導と教育相談	○生徒指導の在り方と事例検討 ○いじめ・不登校の理解と支援の在り方 ○発達障害の対応 ○ストレスマネジメント	○発達障害および児童虐待に対する学校の組織対応
課題解決力の向上	テーマ	◆多様な教育課題の現状を捉え、その解決を図る力の向上 ・自己の課題の把握				
	主な内容	○教育課題研究 ○環境教育(選択) ○国際教育(選択) ○ふるさと教育(選択) ○市町教育委員会が実施する研修(選択) (1講座以上を選択)	○課題選択研修から1講座を選択(3年目)	○課題選択研修から1講座を選択	○課題選択研修から1講座を選択	○課題選択研修から2講座(教科等及び分野別から1講座ずつ)を選択
マネジメント力 人権教育	テーマ	◆人権・同和問題についての基礎的知識・理解		◆人権教育を実践するための指導方法の習得	◆マネジメント力の育成と学校運営の企画力の向上 ◆人権教育を実践するための指導方法の充実	◆学校運営に参画する意識の向上
	主な内容	○人権教育の理解		○個別的な人権課題	○学校組織マネジメント ○SWOT分析 ○人権尊重の学校づくり	○学校組織マネジメント ○教師のメンタルヘルス

## 石川県②

### 成果と課題・平成29年度計画における改善策等

#### 成果

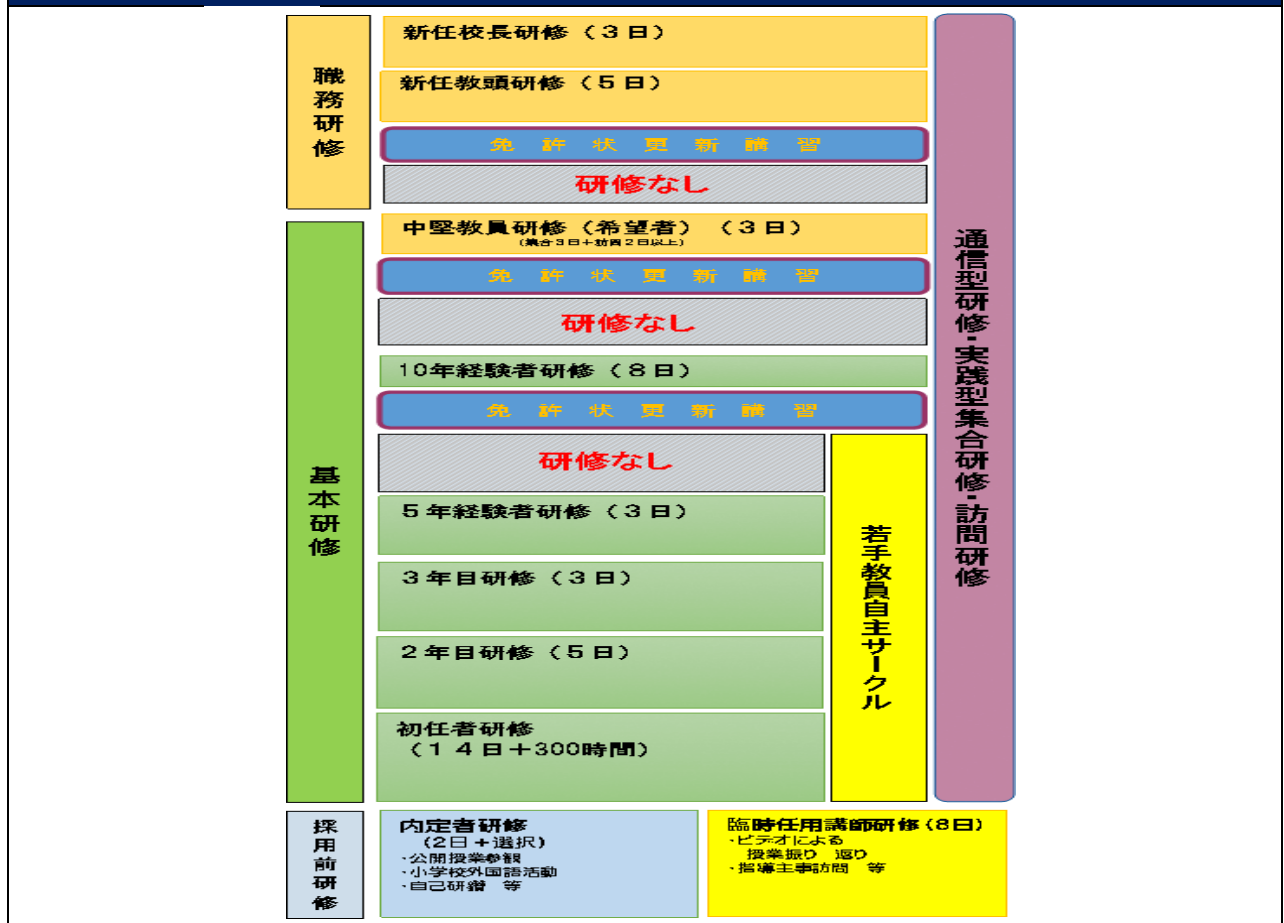
- ・教職経験や職能に応じたテーマや内容を設定し、身に付けるべき資質能力の向上を図るとともに、教師に求められる役割等を理解し、主体的に取り組む姿勢が見られるようになった。

#### 課題と改善策

- ・研修会場へ遠方からの往復に時間がかかり、負担が大きい。
  - サテライト会場を設置し、研修を実施。
- ・研修のため学校を開ける日数が多い。
  - 研修内容の精選および統合等により、研修で学校を開ける日数を軽減。

# 福井県

## 平成28年度教職経験者研修を含む教職員研修全体の体系図・取組等の概要



## 成果と課題・平成29年度計画における改善策等

- 成果**
- ・ 教職経験者研修に継続的に取り入れているクロスセッションは、アンケート結果から見ても、お互いに刺激し合うことで教員の力量形成に効果があった。
- 課題**
- ・ 今後10年で約4割の教員が定年退職を迎える状況である。10年経験者研修を終えた後の研修を充実させ、ミドルリーダーを育てる必要がある。
- 改善策**
- ・ 中堅教諭等資質向上研修の一部を教員免許状更新講習を兼ねて、県教委、福井大学との共催で実施
  - ・ 30代と40代の免許状更新講習の間に、校内研修におけるOJTの実践を中心としたミドルリーダー養成研修を新設
  - ・ 管理職をめざす40～50歳代前半対象に、組織マネジメントとカリキュラムマネジメントを学ぶマネジメント研修を新設

# 山梨県

## 平成28年度教職経験者研修を含む教職員研修全体の体系図・取組等の概要

◎ 教職員のライフステージに応じた研修体系(平成28年度)

山梨県総合教育センター

ライフステージ	1年目～	6年目～	11年目～	(40歳)15年目～	20年目～	25年目～
	基礎・基本の形成期	実践力の向上・成長期	実践力の充実・発展期	指導的力量的形成期	総合力の発揮・円熟期	
求められる力 資質・能力	基礎的指導力	基礎的指導力・実践的指導力	実践的指導力・学校経営への参画			学校運営力・学校経営力
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情熱</li> <li>○積極性、チャレンジ精神</li> <li>○学ぶ意欲(自己啓発力)</li> <li>○行動力</li> <li>○素直さ、謙虚さ</li> <li>○コミュニケーション力</li> <li>○基礎的な授業力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情熱</li> <li>○積極性、チャレンジ精神</li> <li>○学ぶ意欲(自己啓発力)</li> <li>○行動力</li> <li>○素直さ、謙虚さ</li> <li>○コミュニケーション力</li> <li>○生徒理解・指導力</li> <li>○授業力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○幅広い知識・教養</li> <li>○判断力、決断力</li> <li>○組織や学校経営への貢献</li> <li>○企画力</li> <li>○地域や保護者への対応</li> <li>○生徒理解・指導力</li> <li>○高い授業力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○若手教職員の育成</li> <li>○リーダーシップ</li> <li>○幅広い知識・教養</li> <li>○判断力、決断力</li> <li>○組織や学校経営への貢献</li> <li>○企画力</li> <li>○地域や保護者への対応</li> <li>○生徒理解・指導力</li> <li>○より高い授業力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○リーダーシップ</li> <li>○人間的な魅力、信頼感</li> <li>○判断力、決断力</li> <li>○組織や学校経営への貢献</li> <li>○企画力</li> <li>○地域や保護者への対応</li> <li>○生徒理解・指導力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○リーダーシップ</li> <li>○判断力、決断力</li> <li>○職場の環境作り</li> <li>○企画力</li> <li>○地域や保護者への対応</li> <li>○外部折衝力</li> <li>○ビジョンの構築力</li> <li>○教職員の育成</li> </ul>
初任者採用前説明会 初任者研修(必修研修)	初任者研修	5年経験者研修	10年経験者研修	中堅教員研修		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業づくり・授業研究</li> <li>○学級経営</li> <li>○教科指導</li> <li>○生徒指導</li> <li>○健康教育</li> <li>○特別活動</li> <li>○進路指導</li> <li>○防災教育</li> <li>○キャリア教育</li> <li>○社会福祉体験</li> <li>○特別支援教育</li> <li>○福祉・ボランティア教育</li> <li>○総合的な学習の時間</li> <li>○養護教諭・栄養教諭専門</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資質向上</li> <li>○教科指導</li> <li>○教育課題研修</li> <li>○教育相談</li> <li>○特別支援教育</li> <li>○学校組織マネジメント</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資質向上</li> <li>○教科指導</li> <li>○人権教育</li> <li>○災害時における危機管理</li> <li>○情報モラル教育</li> <li>○教育相談</li> <li>○大学講座研修</li> <li>○他校種間交流</li> <li>○学校危機管理</li> <li>○博物館研修</li> <li>○養護教諭専門</li> <li>○学校組織マネジメント</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資質向上</li> <li>○学校組織マネジメント</li> <li>○生徒指導</li> <li>○カリキュラム・マネジメント</li> <li>○キャリア教育</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>免許状更新研修</b></p> <p>◇免許状更新講習(栄養教諭対象)に関する研修会                      ＊免許状更新講習の内、選択領域18時間分の研修                      ＊栄養教諭、養護教諭及び教諭を対象とする免許状更新講習。(定員を超えた場合は、栄養教諭を優先する。)                      ○食育推進のための指導力向上Ⅰ                      ○食育推進のための指導力向上Ⅱ                      ○食育推進のための指導力向上Ⅲ</p> </div>	
教育経営研修	小学校経験3年目教員 理科指導力向上研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>〈新特別支援学級担当〉〈新研究主任研修〉〈新学年主任・学部主事研修〉〈新教務主任研修〉</li> <li>〈道徳教育推進教師研修〉〈新特別支援教育コーディネーター研修〉〈新生徒指導主事・主任研修〉〈防災教育リーダー研修〉</li> <li>〈県立学校ネットワーク担当者及びPOリーダー研修〉〈小中学校授業力アップ実践研修〉〈医療的ケアスキルアップ研修〉</li> </ul>				〈新主幹教諭研修〉〈新教頭研修〉〈新校長研修〉
希望研修	教科等研修	教育課題研修	教育相談研修	特別支援研修研修	情報教育研修	外部共催研修
	教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間、外国語活動、養護教諭等	理数、食育、学校図書館、新聞活用、地震防災対策、キャリア教育、加計カラム・マネジメント、校務研究等	教育相談の基礎理論、カウンセリング基礎実践、グループセラピー(基礎・応用)、不登校問題に関する理論と実践、いじめ予防、アドラー心理学、ストレスマネジメント、関係機関との連携等	特別支援教育専門、心理検査法、特別支援学級の授業づくり、特別支援学校の授業づくり、通常の学級における特別支援教育等	情報セキュリティネットワーク、タブレット、ICT機器活用、ウェブプロジェクト、ホームページ作成、プレゼンテーション、(けいも活用マクロ基礎、ネットワーク基礎、サーバ構築基礎等	科学館、博物館、文学館、森林総合研究所、富士山科学研究所、国際交流センター、寄附博物館、歴史文化財センター、男女共同参画推進センターとの共催

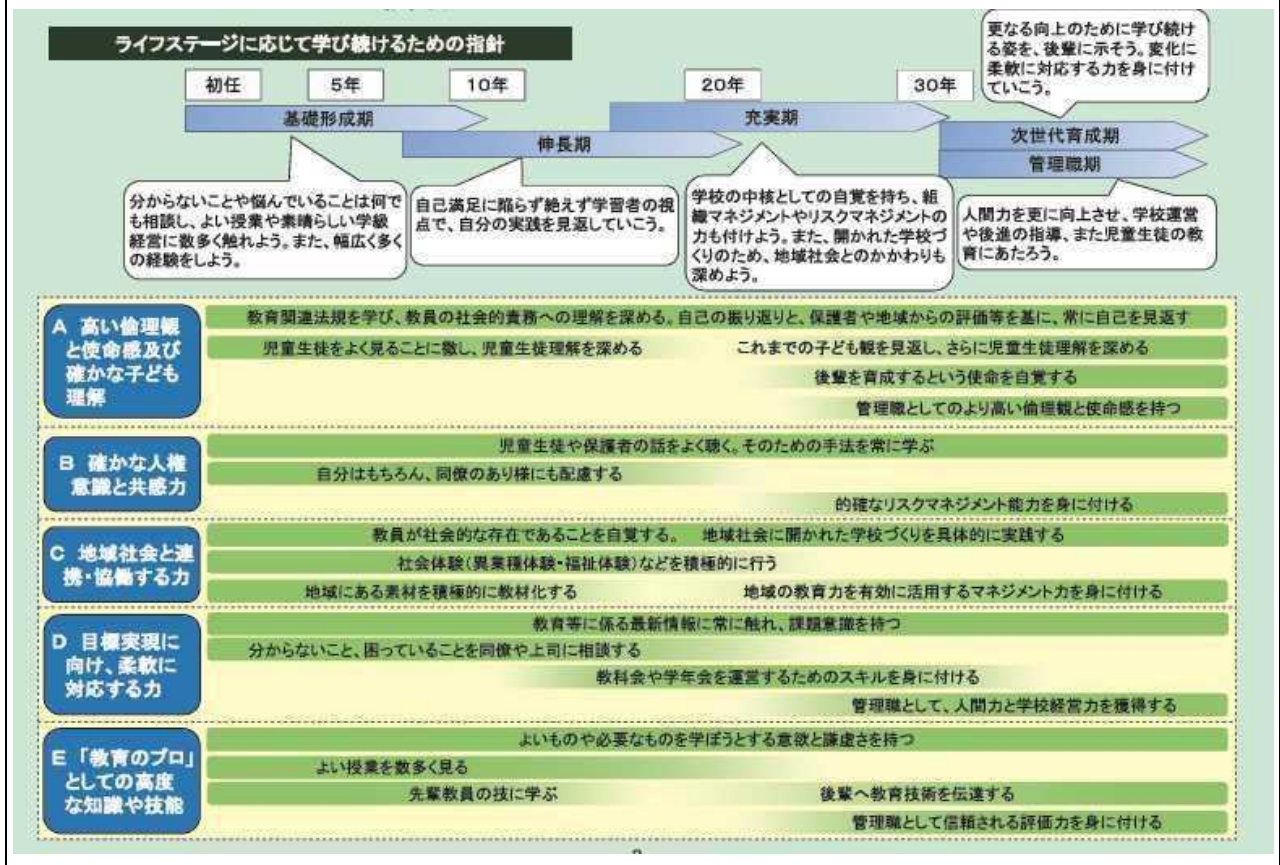
## 成果と課題・平成29年度計画における改善策等

- 成果**
- ・ 初任者研修と5年経験者研修を同時に行う教育相談研修を通して、初任者は、先輩教員の具体的な実践事例から多くのことを学ぶことができ、先輩教員は、初任者のメンターとしての自覚が高まり、研修へ積極的に取り組む姿勢がみられた。
  - ・ ライフステージに応じた研修を計画することを通して、各年次に応じた効果的な研修を実践することができ、教員を継続的に育成することにつながっている。
- 課題**
- ・ 初任者研修が1年間で完了となっているが、複数年によるPDCAサイクルを有効にいかせられない。免許状更新講習との関わりにおける中堅教諭等資質向上研修の単位認定について検討できない。
- 改善策**
- ・ 2年次、3年次研修の設定・免許状更新講習との関わりにおける中堅教諭等資質向上研修の単位認定について検討。教員育成指標と研修計画との関連を通して、研修の質の向上・教職員の多忙化解消に向けた研修の精選を検討。



# 長野県

## 平成28年度教職経験者研修を含む教職員研修全体の体系図・取組等の概要



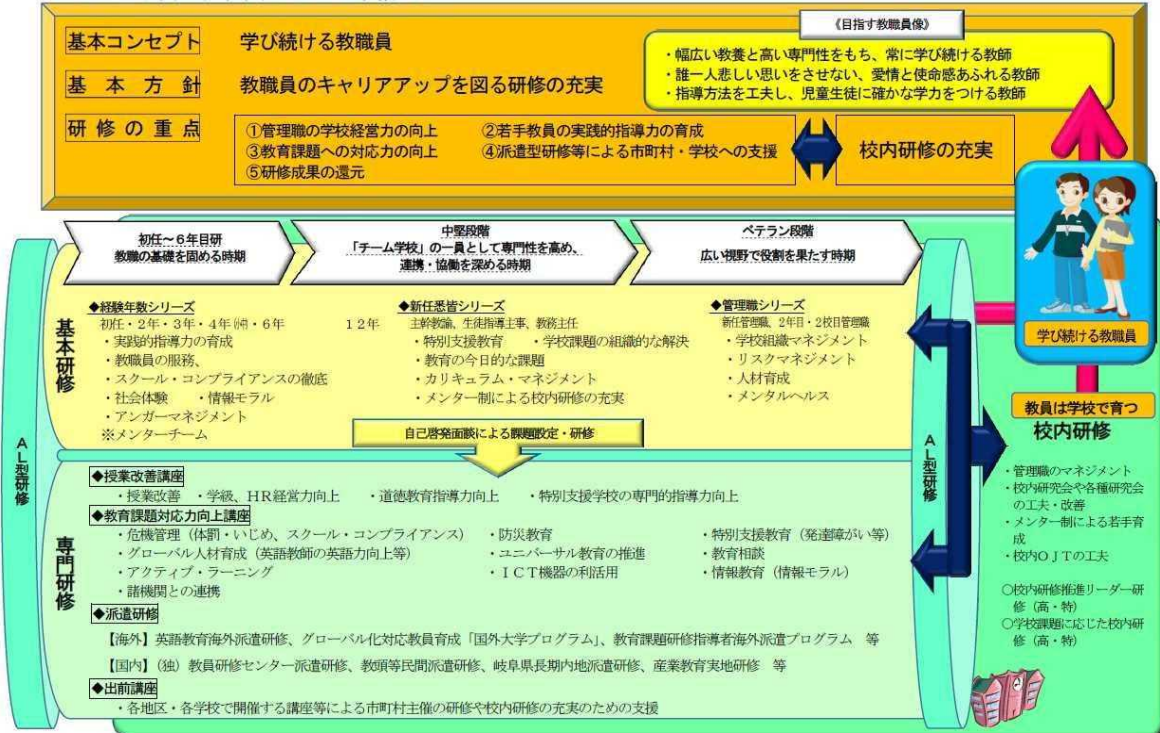
## 成果と課題・平成29年度計画における改善策等

- 成果**
- ・「集める」研修から、「出向く」研修を進め、校内研修や地域での研修の活性化を図った。5年経験者と初任者とのクロスエイジセッションにより、経験年数による成長や課題の様子を共有し、学ぶよさを実感することができた。
- 課題**
- ・教員研修にかかわる関係機関と連携して、キャリアステージに応じた教員研修の在り方について検討していく。受講者が研修内容を周囲に広める仕組みづくりや自己研修も含め、研修状況を把握する方法を研究していく必要がある。
- 改善策**
- ・教員の資質向上のためのガイドブックの作成  
育成指標に基づく教員研修計画の作成  
教員の自己評価、面談、校内研修などの手引きの作成

# 岐阜県①

## 平成28年度教職経験者研修を含む教職員研修全体の体系図・取組等の概要

平成28年度 教職員研修の基本構想図



**改善**

平成29年度 教職員研修の基本構想図



## 岐阜県②

### 成果と課題・平成29年度計画における改善策等

#### 成果

- ・経験年数や校種を基に実態を踏まえた上で研修内容を検討し、実施することで、受講者が即実践に生かすことにつながった。
- ・県教育委員会と大学等との連携により、経験年数に応じ、より具体的な内容の研修を実施することができた。
- ・受講者が意欲的に取り組むことができるよう、研修形態を考えることで、積極的に交流したり、考えをもったりする受講者の姿を見ることができた。

#### 課題

- ・経験年数に応じた悉皆の研修への参加のみならず、自身のキャリアアップを図るための研修を考えていく必要がある。

#### 改善策

- ・教職員のキャリアアップを図るために、キャリアステージに応じて必要となる資質・能力を効果的に身に付けることができるよう研修を計画する。また、そのために必要に応じて、教職大学院との連携を図ったり、外部講師を位置付けたりする。

# 静岡県

## 平成28年度教職経験者研修を含む教職員研修全体の体系図・取組等の概要

「頼もしい教職員」とは  
教育活動に深い理解と熟意を持ち  
その職種の特長に精通するとともに  
広い視野を備えて業務に取り組む  
心身共に健全な教職員

### 研修改善の方向性

学習指導要領の改訂や、静岡県教育振興基本計画「有徳の人」づくりアクションプラン」の策定など、国や県の動きに対応しつつ、学校の現状を踏まえた課題に取り組むことができるよう、研修の改善を図る必要があります。

そこで、新たな「静岡県教職員研修指針」では、研修改善の方向性として、次の3つを示しています。

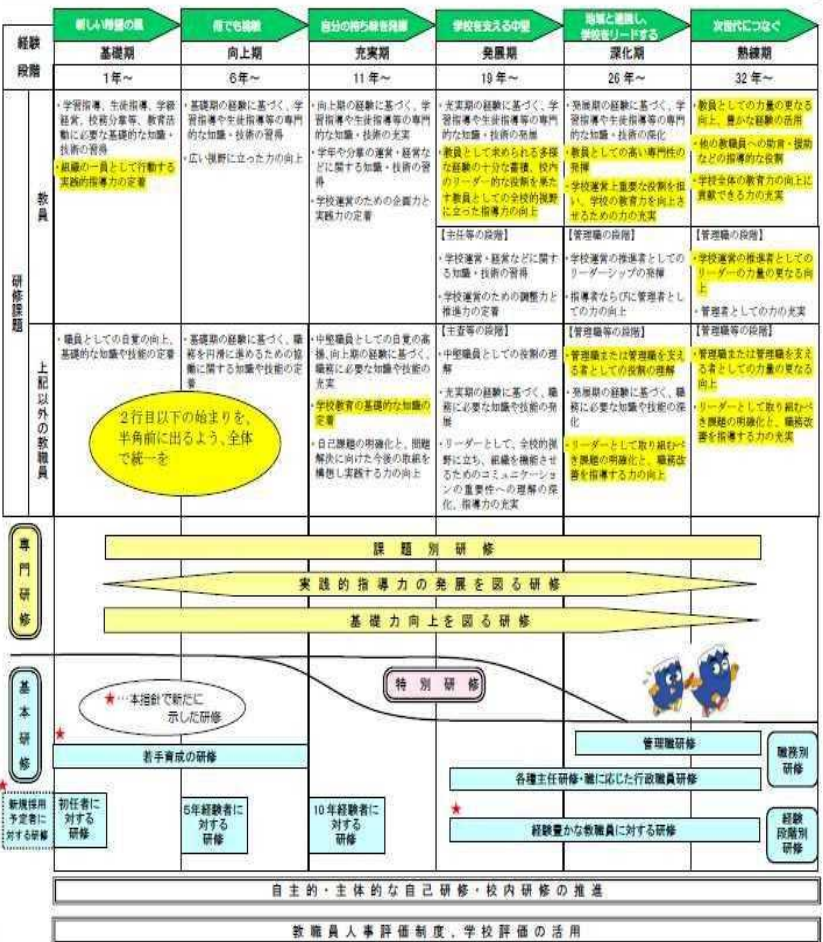
- 教職員人事評価制度、学校評価に対応した研修の充実**
  - 職務遂行能力の向上を図る研修、評価者の評価能力向上を図る研修の推進
- 若手教職員の育成に重点を置いた研修の充実**
  - 採用後10年間の育成期間とした次世代のリーダーとして学校運営を支えることができる力を育成する研修の推進
- 経験豊かな教職員に対する研修の充実**
  - 指導技術を若手教職員に円滑に伝承し、学校運営への積極的な参加を支援するための研修の推進
- 学校や教職員に期待される役割の多様化に対応した研修の充実**
  - 学校と家庭や地域社会との協力・連携を図る研修の推進
- 今日的課題に対応した研修の充実**
  - 国際化をはじめとする社会状況の変化、国や県の施策を踏まえた課題に対応する研修の推進
  - 異業種との交流、コンプライアンスの徹底など、学校が抱える課題に対応し、校内研修の質を高めるための研修の推進

- 専門研修の例**
- 学習指導に関する研修
  - 教育の質向上に関する研修
  - 生徒指導・教育相談に関する研修
  - 生涯学習推進に関する研修
  - 生活学習推進に関する研修
  - 各種専門的な指導に関する研修
  - 特別支援教育に関する研修
  - キャリア教育に関する研修
  - マネジメントに関する研修
  - 行政職に関する研修

- 特別研修の例**
- 長期研修、実務研修
  - 民間企業等長期派遣研修
  - 青年海外協力隊、日系社会青年ボランティア
  - 大学・大学院派遣、教職大学院派遣
  - 海外派遣研修
  - 在外教育施設派遣教員

### 研修体系の基本構想

教職員一人一人が理想とする姿を、長期的目標として立てるとともに、経験段階ごとに具体的な力を身に付けることを短期的目標として立て、その実現を図ることができるよう、新たな研修体系を構想しました。



## 成果と課題・平成29年度計画における改善策等

### 【成果】

5年研修、10年研修ともに、受講者からの評価は良好である。特に、静岡県では6年目から10年目に大きく教師の力量が向上していると感じている教員が多い。その期間のはじめに行う5年研修は、受講者が成長を感じられる場を提供しており、有意義なものとなっている。

### 【課題】

平成29年4月1日施行の教育公務員特例法等の一部改正に伴う変更に対応し、研修全体を見直すこと。

### 【改善策】

指標の策定に伴う研修内容の研究・精査が必要である。また、教員の多忙化に配慮するために研修期間の弾力化等について考えていく。

# 愛知県

## 平成28年度教職経験者研修を含む教職員研修全体の体系図・取組等の概要



## 成果と課題・平成29年度計画における改善策等

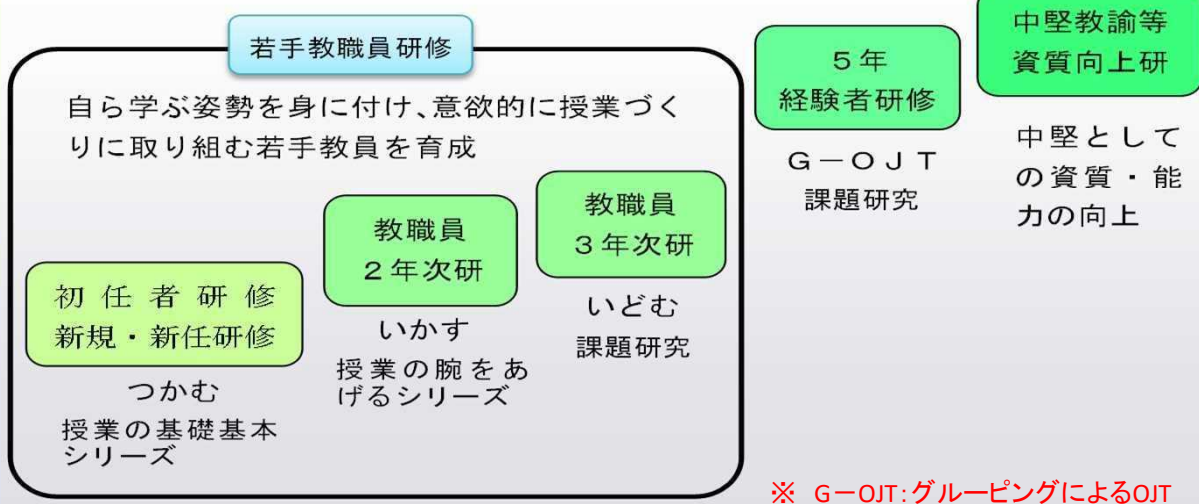
- 成果** ・「自ら学ぶ」という視点を大切にしながら、5年経験者研修、10年経験者研修においては、「ミドルリーダーとしての意識向上」をねらいの中に位置付けたことにより、受講者の意欲向上が図れた。
- 課題** ・10年経験者研修を中堅教諭等資質向上研修として内容を見直すとともに、教職員のキャリアステージに基づいた研修体系の再構築を行う必要がある。

# 滋賀県

## 平成28年度教職経験者研修を含む教職員研修全体の体系図・取組等の概要

### ステージ研修

★学ぶ力向上につながる確かな授業力、教育的ニーズに対応できる資質能力を身に付ける



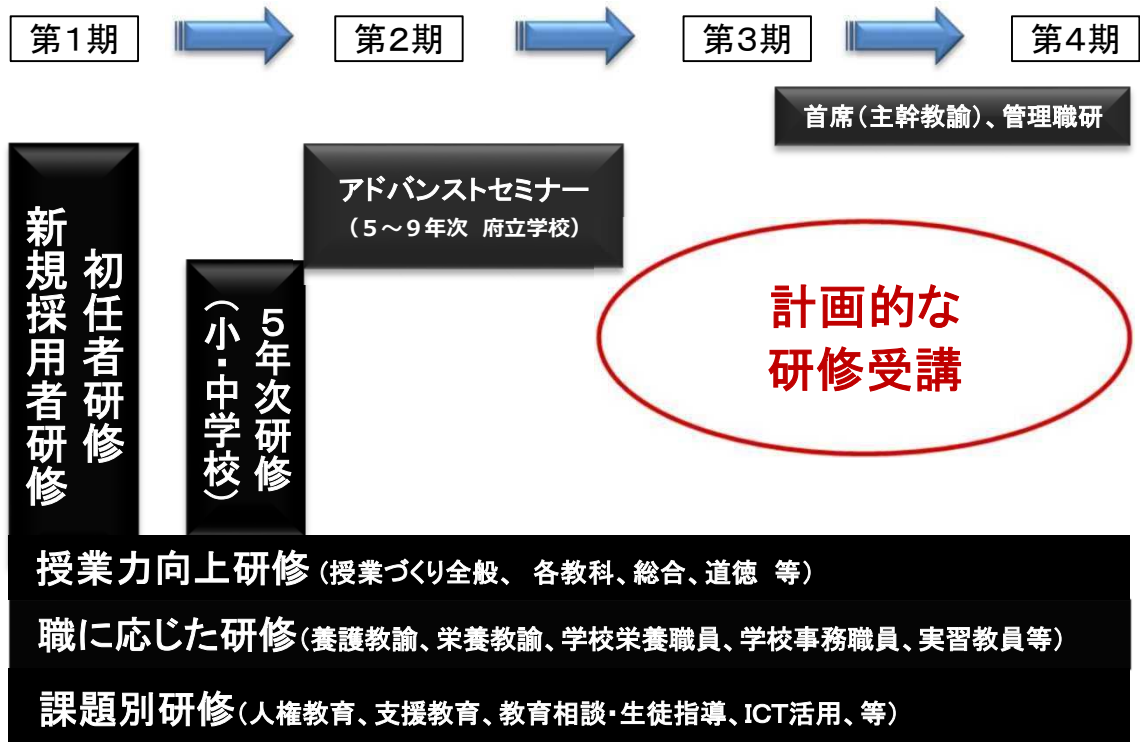
- 工夫
- ・ 初任者研修と10年経験者研修とのクロス研修を行い、コーチングを生かして10年経験者が初任者の話を傾聴する場を設けた。
  - ・ 若手教員研修では、授業づくりに焦点を絞り、経験に合わせて段階的な研修内容とした。
  - ・ 5年経験者研修では、学校でのグルーピングによるOJT(以下、G-OJT)を取り入れ、協働による研修を進めた。

## 成果と課題・平成29年度計画における改善策等

- 成果
- ・ 初任者研修と10年経験者研修を合同で開催することにより、初任者は日頃の悩み等について先輩教員からアドバイスを得ることができ、10年経験者は既習のコーチングの技術を用いて実践することができた。
  - ・ G-OJTの取組として校内で協働して研究を行うことにより、本人だけではなく、学校全体の活性化につながった。
- 課題
- ・ 中堅教諭等資質向上研修(平成29年度)の対象者が各校に複数在籍することにより、同時出張、免許状更新演習との重複等が課題となり、受講しにくい状況がある。
- 改善策
- ・ 中堅教諭等資質向上研修の対象者の受講機会の幅を広げ、本人や学校の意向を含め、校長が受講を判断できるようにする。

# 大阪府

## 平成28年度教職経験者研修を含む教職員研修全体の体系図・取組等の概要



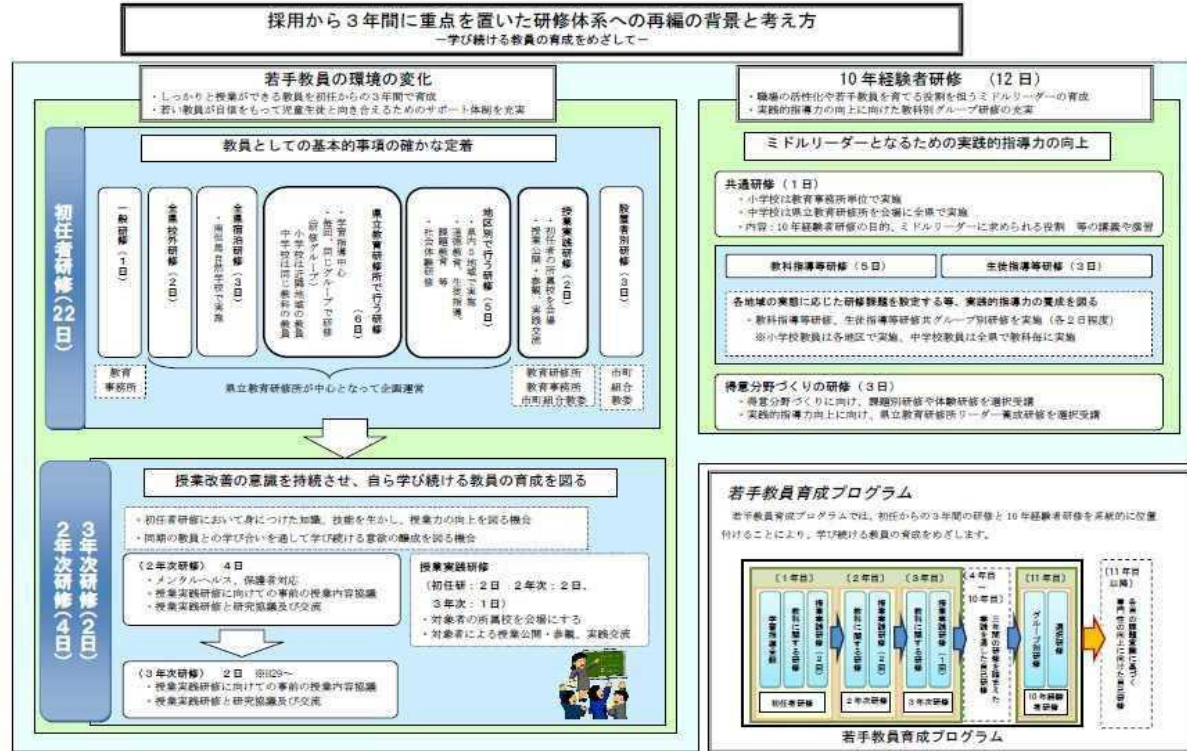
工夫1 教員生活全般を通して「学び続ける」ことができるよう、それぞれのキャリアステージや教員ニーズに応じた多様な研修を設定している。

## 成果と課題・平成29年度計画における改善策等

- 小・中学校、義務教育学校においては、5年次研修を設定し、10年目に受講していた内容の一部を移管することで、負担を軽減した。
- 高等学校、支援学校においては、10年目に受講していた内容の一部を、5～9年目のいずれかの年次に受講できるようにし、負担を軽減した。

# 兵庫県

## 平成28年度教職経験者研修を含む教職員研修全体の体系図・取組等の概要



- ① 平成27年度から、学び続ける教員の育成をめざし、採用から3年間に重点を置いた研修体系へと再編した。
- ② 教員のライフステージに応じた研修の機会となるよう、自己の課題に応じた研修を5年次・15年次に行うようにしている。

## 成果と課題・平成29年度計画における改善策等

**成果** 「多様な学び方の体験」を通して、学びの手法を一人一人の教員に蓄積するとともに、教員の授業力向上に向けた意欲の醸成を図ることができた。

**課題改善策** 平成29年度より、これまでの「10年経験者研修」を「中堅教諭等資質向上研修」としている。教育公務員特例法等の一部を改正する法律の公布に伴い、研修対象者や実施内容について、検討を行う必要がある。

若手教員の授業力向上に向け、新学習指導要領を踏まえた授業づくりに関する研修の充実を図る必要がある。



# 奈良県①

## 平成28年度教職経験者研修を含む教職員研修全体の体系図・取組等の概要

奈良県立教育研究所の教職員研修体系図(ブランドデザイン)

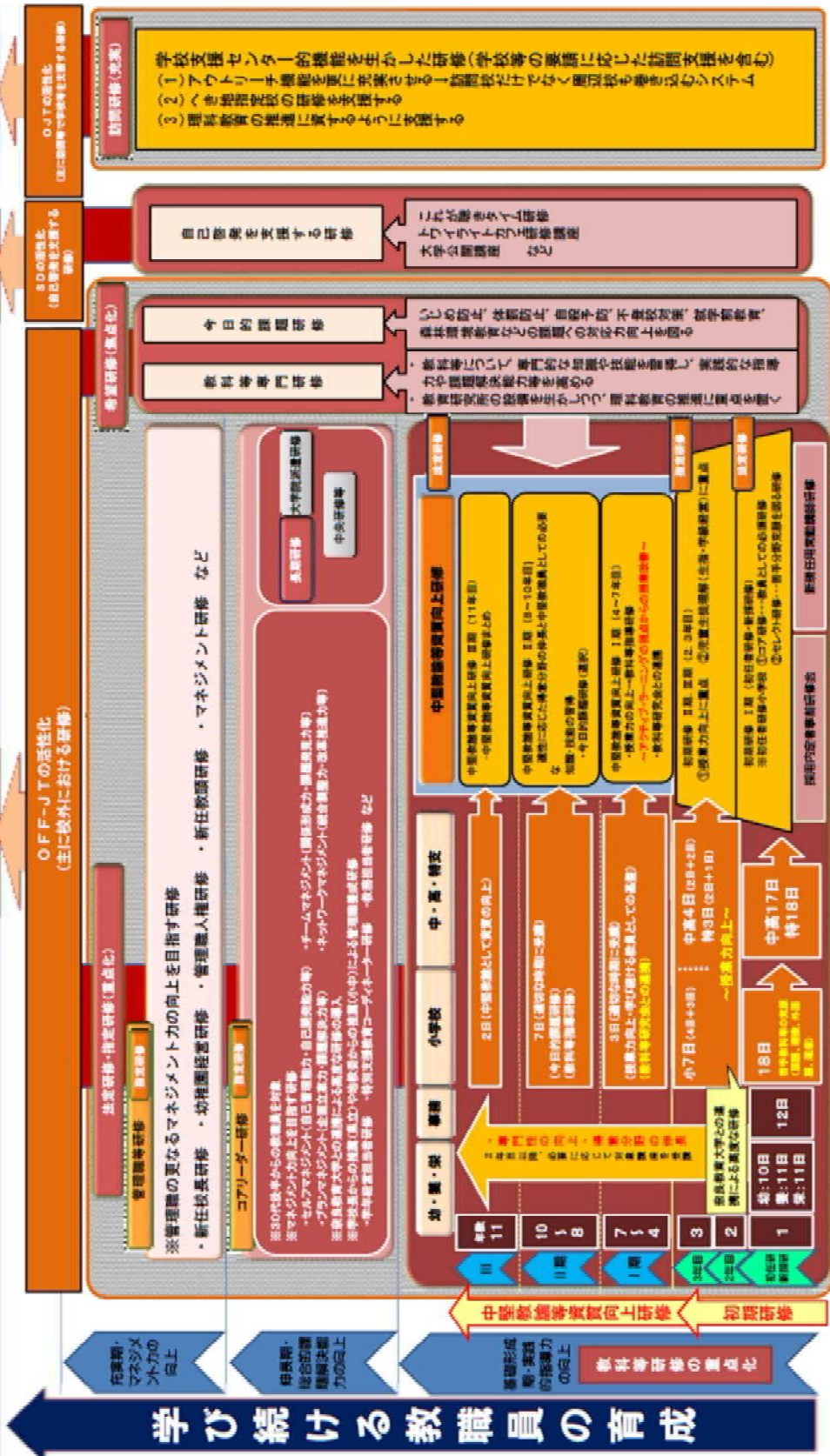
生涯学び続ける教職員の育成を目指して  
～OJT、SD、OFF-JTの活性化による教職員の資質能力の向上と学校組織の強化～

県民の学校教育への満足度の向上

### 学校の教育力の向上

### 教職員の資質能力の向上

### 学校組織の強化



## 学び続ける教職員の育成

校長研修  
総合研修  
実践力  
の向上

校長研修  
総合研修  
実践力  
の向上

校長研修  
総合研修  
実践力  
の向上

校長研修  
総合研修  
実践力  
の向上

校長研修  
総合研修  
実践力  
の向上

校長研修  
総合研修  
実践力  
の向上

校長研修  
総合研修  
実践力  
の向上

校長研修  
総合研修  
実践力  
の向上

校長研修  
総合研修  
実践力  
の向上

校長研修  
総合研修  
実践力  
の向上

校長研修  
総合研修  
実践力  
の向上

校長研修  
総合研修  
実践力  
の向上

校長研修  
総合研修  
実践力  
の向上

校長研修  
総合研修  
実践力  
の向上

校長研修  
総合研修  
実践力  
の向上

校長研修  
総合研修  
実践力  
の向上

校長研修  
総合研修  
実践力  
の向上

校長研修  
総合研修  
実践力  
の向上

校長研修  
総合研修  
実践力  
の向上

校長研修  
総合研修  
実践力  
の向上

校長研修  
総合研修  
実践力  
の向上

校長研修  
総合研修  
実践力  
の向上

校長研修  
総合研修  
実践力  
の向上

校長研修  
総合研修  
実践力  
の向上

校長研修  
総合研修  
実践力  
の向上

校長研修  
総合研修  
実践力  
の向上

校長研修  
総合研修  
実践力  
の向上

校長研修  
総合研修  
実践力  
の向上

校長研修  
総合研修  
実践力  
の向上

## 奈良県②

### 成果と課題・平成29年度計画における改善策等

#### 【成果】

・平成27年度より、研修講座の体系を、主に教育研究所で実施するOFF-JTの活性化を図る研修、指導主事等が学校現場を訪問してOJTの活性化を支援する研修、各教職員の自己啓発を支援する研修の3つに大きくカテゴリー化して進めてきたところ、のべ受講者数が増加（平成26～28年度：14,117人→16,670人）し、受講目標達成指数【アンケート回答：活用できる（%）+ほぼ活用できる（%）×2/3+あまり活用できない（%）×1/3】は毎年度85%を維持（平成26～28年度：86.3・86.1・85.6）している。

#### 【課題】

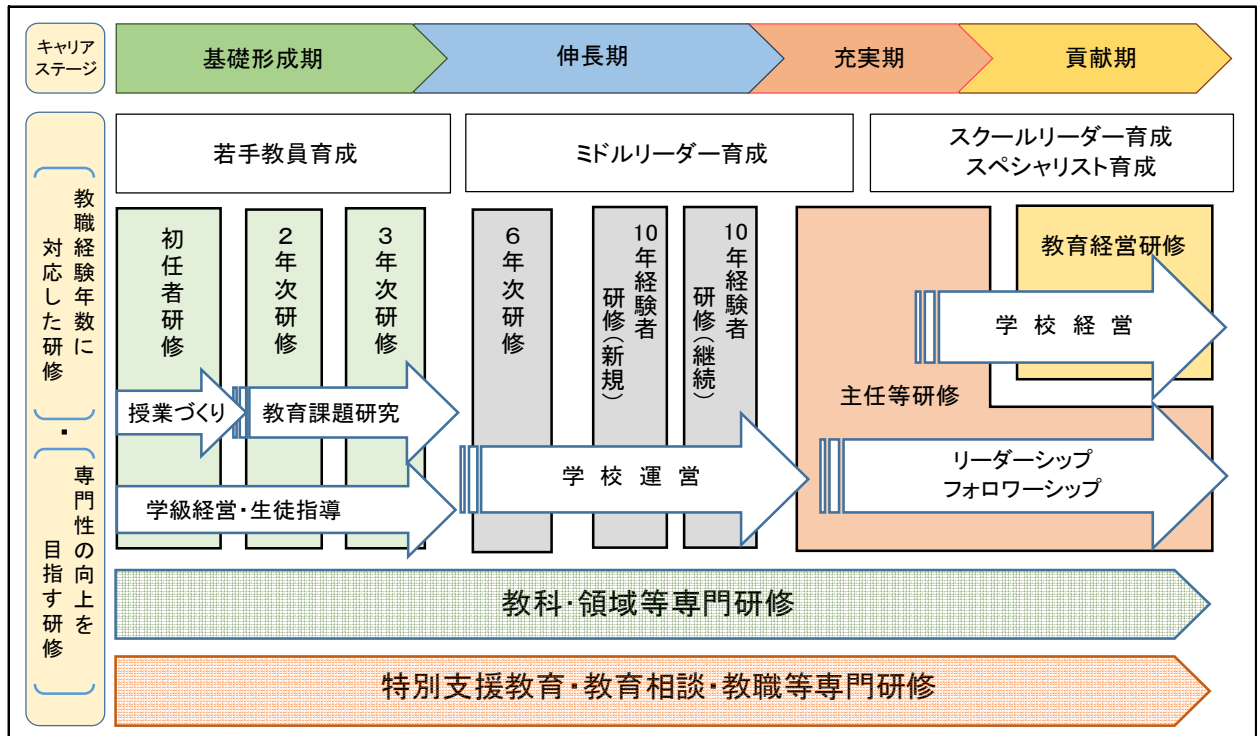
- ・新学習指導要領、奈良県教育振興大綱等への対応
- ・キャリアステージに応じた目指すべく教職員像の具体化

#### 【改善策】

・教職員の資質・能力の向上のための教職員育成指標の策定や、指標を踏まえた教職員の主体的な受講を促す研修計画の立案を現在進めており、平成30年度よりリニューアルした教職員研修計画に基づいた研修体系に則して研修講座を実施する予定である。

# 和歌山県

## 平成28年度教職経験者研修を含む教職員研修全体の体系図・取組等の概要



- ① 初任者研修に引き続き、2年次・3年次研修を実施することで、若手教員を継続して育成している。
- ② 6年次研修を実施することで、自身よりも若手の教員を育成しようとする意識、学校運営に参画しようとする意識を高めることで、ミドルリーダーの早期養成につなげている。
- ③ 10年経験者研修において校内研修会の運営実践を課すことで、学校運営への参画意識を確かなものとするとともに、ベテランと若手をつなぐミドルリーダーとしての力量を高める。

## 成果と課題・平成29年度計画における改善策等

- 成果**
- ・初任者研修、2年次研修、3年次研修を、教員の基礎形成期として位置付け、授業づくりや学級経営及び生徒指導に重点を置いて実施することで、若手教員の実践的指導力の向上につながった。
  - ・6年次研修と10年経験者研修との連携を図り、教職キャリアを強く意識させることで、同僚性・協働性を基盤とした学校運営への参画意識の向上につながった。
- 課題**
- ・校長及び教員としての資質の向上に関する指標とリンクした効果的な研修体系の構築については、検討中である。
- 改善策**
- ・校長及び教員としての資質の向上に係る協議会を核として、学び続ける教員を支えるキャリアシステムの構築が欠かせない。関係大学等と連携し、養成・採用・研修を通じた教員の資質向上を図る。